

人生の  
必修科目！

涙腺崩壊！

恋がしたい！

心の防御力UP！

スリル 好奇心  
日常の外へ！

世界を  
広げる視点！

楽しさ  
時間泥棒級！

未来の設計図！

# 心の 防御力UP!

心がほっとする、ストレスフリーな  
最強の11冊

絵本

## いつもの あさの あいうえお

うえだまこと 作



なにげない日常をたいせつに過ごすこと…その「いつもの」日々の尊さを、五十音のことばでいろどった1冊。主人公の子どもが、朝から夜まで1日のなかで見ている情景を、ゆったり描いたイラストと柔らかな文章でおどけます。声に出して読みたい・読んであげたい1冊。読み終えたあと、自然と穏やかな気持ちになります。

家族・友達

2025年11月刊行

2000円+税 / B5変型判 / 64ページ

あかね書房

978-4-251-09988-4

人生の  
必修科目！

涙腺崩壊！

恋がしたい！

心の防御力UP！

スリル 好奇心  
日常の外へ！

世界を  
広げる視点！

楽しさ  
時間泥棒級！

未来の設計図！

## これから大人になるアナタに伝えたい10のこと

サヘル・ローズ 著



戦争に人生を翻弄され、養母とともに来日してからも、貧困やいじめに苦しんだサヘル・ローズ。幼少期から積み重なった辛い経験は、心に大きな穴を空けてしまったといいます。暗闇と孤独の中を生き抜いてきたサヘル・ローズが、悩みの中にいる子どもたちの孤独や痛みに寄り添い、「大丈夫」と元気づけ、自分らしく生きていくためのヒントを語ります。

ノンフィクション

戦争・平和

2024年12月刊行

1500円+税 / 四六判 / 223ページ

童心社

978-4-494-02085-0

## あやしの保健室II ④古代生物ネバネバ

染谷果子 作 / HIZGI 絵



校庭の地下に眠っていた古代生物が目覚めた！ その目的は、人間に寄生して吸収すること。寄生された子どもたちは、だんだん「みんな同じ心」になっていき…。ちょっとアヤシイ養護教諭・奇野妖乃(あやしの あやの)と、学校生活での悩みを抱えた子どもたちとの、むきだしの心のふれあいを描く人気シリーズ！ シーズン2、感動のフィナーレ!!

短編小説

学校生活

2024年12月刊行

1,300円+税 / 四六判 / 191ページ

小峰書店

978-4-338-34804-1

## こんにちは 弱いロボット

岡田美智男 作 / 早川世詩男 絵



この本に出てくるのは、こんなふうには苦手なことや弱点が多いロボットばかりです。モジモジ、オドオド、モゾモゾ、キョロキョロと、どこか自分の行動に確信がもてないようす……。でもおもしろいことに、そんなロボットを目にすると、どこからか助けてあげようとする人が現れるのです。

科学・知識

ノンフィクション

2025年12月刊行

1500円+税 / 21cm×19cm / 79ページ

偕成社

978-4-03-528660-8

## あんずとぞんび

坂城 良樹 著



神様に見捨てられた私を助けてくれたのは、同じアパートに住むソンビのおじさんだった。川をはさんだ向かいの町に、母と引っ越してきた小学生のあんず。いじめられていたあんずを助けてくれたのは、同じアパートに住むぞんびのおじさんだった。孤独を受け止められないあんずと、孤独とともに生きるぞんびのおじさん。お互いの存在が、それぞれの人生へのかすかな光となる。ポプラ社小説新人賞奨励賞作品。

家族・友達

2025年4月刊行

1800円+税 / 四六判 / 239ページ

ポプラ社

978-4-591-18607-7



978-4-593-10190-0

## シャドウ・ベイビー

アリスン・マギー 作／斎藤倫子 訳

わたしには、双子の姉がいる。でもその姉は、「いない」ことになっている。母さんは、姉さんのこともお父さんのことも、なにも教えてくれない——  
孤独な少女は孤独な老人と出会い、「可能性」を見つける旅に出る。心をかよわせたふたりが見つけた光とは。

家族・友達 未来・夢

2025年12月刊行  
2000円+税／四六判／356ページ ほるぷ出版



978-4-591-18614-5

## 読書感想文が終わらない！

額賀 湊作／satsuki 絵

夏休み、小学校の図書室で出会ったのは…感想文の救世主！？  
小学校の図書室に現れた、謎の中学生フミちゃん。彼女に導かれるように感想文を書きはじめる小学生たち。ただ書いただけけど、抱えていた不安やさみしさ、モヤモヤがちょっと軽くなって…。  
青春小説の名手・額賀湊が贈る。読んだら書くコツがわかって、心もすっきり！感想文がちょっと好きになる物語。

学校生活 家族・友達

2025年6月刊行  
1600円+税／B6判／239ページ ポプラ社



978-4-05-206059-5

## 白い虹を投げる

吉野万理子 作／黒須高嶺 絵

野球チームで頑張っていた、小学6年のヤヤと葉央。ヤヤは転校して新チームになじめず、残された葉央は、メンバーが減ったせいで試合ができない。ふたりはメールで励まし合う。「キャッチボールクラシック」という大会を知り、そこで再会することを誓うが——

家族・友達 スポーツ

2025年2月刊行  
1600円+税／四六判／232ページ Gakken



978-4-652-20724-6

## 花に風

吉野万理子 作／あわい 絵

夏帆は最近、いけばな教室に通いはじめた。いけばなは楽しいけれど、教室にはちょっと苦手なせんばいがいる。夏帆はせんばいから、花のいけ方を修正され、教室での態度がよくないと注意され、なんだか面白くない。そのころ、夏帆の両親も、仕事上のバワハラをうけていた。夏帆ははじめて上下関係のむずかしさを経験しながらも、いけばなを通して、新しい仲間と、新しいアイデアでつながっていく。初の「ハラスメント児童小説」！

家族・友達 未来・夢

2025年11月刊行  
1600円+税／B6判／208ページ 理論社



978-4-323-02826-2

## そらのにじいろ

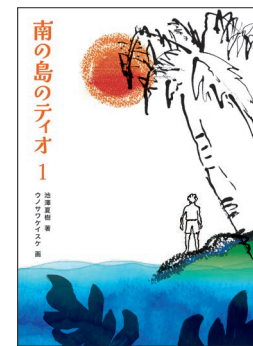
絵本

荒木健太郎 文・写真・絵

雨が降ってなくても出会える「そらのにじいろ」があります。彩雲の他、光環、ハロ、雲の上で見られる光輪、逆さにじ、幻日……。奇跡のような写真で「そらのにじいろ」を見ていきましょう。

科学・知識

2025年10月刊行  
1400円+税／24.6×21.5cm／32ページ 金の星社



978-4-265-81181-6

## 南の島のティオ1

シリーズ全3巻

池澤夏樹 著／ウノサワケイスケ 画

ティオは父が営む南の島のホテルで手伝いをしながら暮らす少年。島で出会った人々と織りなす郷愁あふれる短編集。池澤夏樹の名作児童文学を美しい挿絵と共に。本作品は、1992年に楡出版にて書籍化(小学館文学賞)、その後文春文庫や青い鳥文庫として刊行されました。今回新たな前書きを加え、児童にも読みやすいよう一部の漢字に読み仮名をふり、多数の美しい挿絵を掲載して刊行(3巻に分冊)。

短編小説 青春・感動

2025年6月刊行  
2000円+税／A5判／160ページ 岩崎書店